

祝 百歳 おめでとうございます



100歳を迎えられた内田喜美さん

宮内の内田喜美さんが6月10日に満百歳の誕生日を迎えられました。
内田さんは明治42年生まれ。現在、グループホーム「ばんだの里」に入所中です。歌を歌うことが大好きな内田さん。長寿の秘訣を何うと何事にも悩まずに後悔をしないことだそうです。森田町長から記念の品を受け取られると笑顔でお礼を述べられました。これからもますますお元気で毎日を楽しくお過ごしください。

ご夫婦で参加した福尾の福留秋子さんは「茶摘みができるのがいいですね。家で煎茶にして食後においしくいただいています」と話しておられました。
陣構では3軒の農家が「陣構茶生産組合」を組織し、5ヘクタールの茶園で有機無農薬栽培に取り組み、大山茶や陣構紅茶として販売しておられます。
今年は、例年より2日早く新茶の摘み取りが始まりました。5月下旬に緑茶の原料となる一番茶の摘み取りが終わり、7月末までは、紅茶や玄米茶、ほうじ茶の原料となる二番茶が摘まれます。

おいしい 新茶をどうぞ

5月24日、陣構で新茶まつりが開かれました。会場となった茶畑では、緋の着物に赤いタスキがけの茶摘み娘とともに参加者も茶摘みに挑戦。摘み取った新茶の天ぷら、新茶そば、新茶を混ぜ込んだつきたての餅などに舌鼓をうちました。



父の日に バラを贈ろう



米子地区花き生産者協会バラ部会は、父の日（6月の第3日曜日）にバラを贈ることを習慣にしておうと毎年、生産者が住む市町村へバラの花を贈ってPRしています。

6月12日、所子でバラを生産している大原広己さんが協会を代表し、森田町長にバラの花束と花かごを贈りました。



新緑の大山で時代行列

5月24日（日）、大山寺周辺で「御興行幸々御幸々」がありました。博労座での法要のあと、僧兵や猿田彦（天狗）などを先頭に、子どもたちのかわいい稚児行列、厄年の男性が担ぐみこしが続き、約200人が緑鮮やかな大山参道を練り歩きました。
また今年と同時に「出雲国神仏霊場合同祭事・第5回世界平和祈願祭」が大神山神社奥宮で開かれ、鳥取、島根両県の20社寺の神職や住職が集まり、世界平和が祈念されました。